

R7 農事メモ(第6号)

令和7年7月11日
白山石川営農推進協議会
松任市農業協同組合

「斑点米カメムシ類多発注意報」が7月3日に発令されました

1. 令和7年度 白山石川地区雑草地カメムシ調査結果

6月下旬調査 42地点 109所

年次	シラホシ カメムシ類	飛 翔 性 カ メ ム シ 類				合 計
	トゲシラ ホシカメムシ	クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	カ ス ミ カ メ 類		
				アカスジカスミカメ	アカヒゲホソ ミドリカスミカメ	
R 7	0.30	0.22	0.28	6.84	8.72	16.38
R 6	0.51	0.16	0.29	12.04	9.63	22.64
対平年比 (%)	200	550	255	224	248	238
過去10年 平均	0.15	0.04	0.11	3.05	3.52	6.88

○雑草地生息調査では 前年より少ないものの、平年の約2倍になっています。
○アカスジカスミカメ・アカヒゲホソミドリカスミカメなど飛翔性のカメムシが多く捕獲されており、いずれの種類も平年より多くなっています。

斑点米低減の対策

○カメムシ防除剤の2回散布を徹底
→「傾穂期(出穂後7～10日)」と
「その7日後」の2回防除が効果的
○本田内除草を徹底
→雑草の種をめぐけて本田に侵入

斑点米カメムシ
多発中！！

2. カメムシ類水田侵入盛期予想と防除適期(液剤・粉剤)

	7月															8月																				
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
ゆめみづほ	出穂																防除																			
				防除														シラホシガムシ等の侵入盛期																		
コシヒカリ																出穂																				
																		防除												防除						
晩植コシヒカリ																																				

3. 防除散布時期目安

体系	散布時期	対象病害虫	薬 剤 名	使用量 10a 当たり	ゆめみづほ	コシヒカリ	本剤の 使用回数	使用時期
粒剤防除	1回目	いもち病、 カメムシ類、 紋枯病、 ウンカ類 他	イモチエース スタークル粒剤	3 kg	7月9日 ～13日	7月20日 ～24日	1回	収穫35日前まで
			ワイドパンチ豆つぶ	250 g			1回	収穫35日前まで
	2回目	カメムシ類、 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤	3 kg	7月23日 ～27日	8月3日 ～7日	3回以内	収穫7日前まで
			スタークル豆つぶ	250 g				
液剤防除	1回目	いもち病、 カメムシ類、 紋枯病	①ビームエイト スタークルゾル + ②バリダシン液剤5	①60～150L (1000倍) ②60～150L (1000倍)	7月23日 ～27日	7月28日 ～8月1日	①3回以内 ②5回以内	①収穫7日前まで ②収穫14日前まで
	2回目	いもち病、 カメムシ類 ウンカ類、 ツマグロヨコバイ	ビームエイト スタークルゾル	60～150L (1000倍)	7月30日 ～8月3日	8月3日 ～7日	3回以内	収穫7日前まで
	追加	カメムシ類他	スタークル液剤10	60～150L (1000倍)	8月4日 ～8日	8月11日 ～14日	3回以内	収穫7日前まで

※ひやくまん穀については、ひやくまん穀通信にてご連絡いたします。

4. 出穂以降～刈取直前までの水管理

- (1) 出穂から開花期は、水分補給を目的に湛水状態(花水)とする。
- (2) 開花期以降は、2～3日おきの間断通水により、飽水管理を行い、根の活力を維持する。
- (3) 間断通水では、地温を下げる夜間入水が効果的。
- (4) フェーン現象等の異常高温・強風が予想される場合はあらかじめ通水する。
- (5) 少なくとも刈取3～4日前までは間断通水を継続し、高温登熟の場合は刈取直前まで通水する。

高温対策

「コシヒカリ」上乗せ追肥について

○出穂前の葉色が淡い場合(葉色4.5未満)は、基肥一発肥料であっても
出穂7日前頃に追加穂肥を施用し、高温登熟による白未熟粒発生を防ぎましょう。

7月21～24日(出穂7日前)を目安に

「BB 優米味R」9～10kg/10aを施用

※ただし基肥に「コシー発くんDX24」を施用している場合は、上乗せ追肥は不要です！